

会 議 録

会議の名称	第9回東和地域開校準備委員会		
開催日時	令和6年6月11日(火)		
	午後7時00分 開会		
	午後8時30分 閉会		
開催場所	東和総合支所 3階大会議室		
委員出席者	千葉 真 由	委員	米谷小学校PTA会長
	及川 朋 喜	委員	錦織小学校PTA副会長
	須藤 裕 子	委員	米川小学校PTA会長
	阿部 宏 祐	委員	東和中学校PTA会長
	小口 信 行	委員	米谷小学校学校運営協議会委員
	鈴木 和 美	委員長	錦織小学校学校運営協議会長
	畠山 光 雄	委員	米川小学校学校運営協議会委員
	熊谷 久 夫	副委員長	東和中学校学校運営協議会長
	秋葉 茂 雄	委員	米谷地域づくり推進協議会長
	猪股 勇 亀	委員	錦織地域振興会長
	千葉 幸 弘	委員	米川地域振興会長
	及川 洋 之	委員	米谷こども園保護者会会員
	芳賀 はる奈	委員	錦織こども園父母の会会員
	下地 邦 仁	委員	米川聖マリア保育園父母の会会長
	若生 利 幸	委員	米谷小学校長
	高須 由 美	委員	錦織小学校長
	菊地 俊 輔	委員	米川小学校長
佐々木 貴 子	委員	東和中学校長	
事務局出席者	安部 保 男		学校再編推進室長
	佐藤 美 紀		学校再編推進室長補佐兼学校再編推進係長
	西條 貴 伸		学校再編推進室主事
	及川 佑 衣		学校再編推進室主事
傍聴者	1人		
議事	(1) 東和地域開校準備委員会での検討経過について (2) 専門部会等の報告事項について (3) その他		
委嘱状 交付等	事務局	開会 午後7時00分 第9回東和地域開校準備委員会を開会する。 (新任委員に委嘱状を交付) (学校再編推進室長あいさつ) (委員及び事務局職員の紹介)	
	議長	事務局	議事に入る。議長は、委員長にお願いする。
		委員長	会議録については、委員長及び副委員長が署名し、公開することとする。 議事1の「東和地域開校準備委員会での検討経過について」、事務局に説明を求める。

事務局	(資料に基づき説明)
委員長	説明のあった内容について、質問等はあるか。
委員	(なし)
委員長	では次に、議事2「専門部会等の報告事項について」、事務局に説明を求める。
事務局	(資料に基づき説明)
委員長	専門部会からの報告について、確認事項はありますか。
委員	交流事業部会の実施したオリエンテーションの感想を伺いたい。
委員	各校で行ってきた活動もあり、特に長縄跳びが盛り上がった。 3校が一緒になることに教職員も不安に感じていたが、やってみると子供たちはとても楽しそうだった。純粹に友達が増えること、仲間が増えることが楽しそうに見えた。中には不安を感じながら参加している子供たちもいたと思うが、子供たちは楽しそうに仲良く活動していて一安心した。 各校のホームページに子供たちの様子を随時発信しているので、ご覧いただきたい。また、二学期には授業を通しての交流会を企画している。
委員長	他に質問はあるか。
委員	(なし)
委員長	次に、「その他」について、委員から何かあるか。
委員	3点ほどある。 1点目、閉校事業について、保護者も地域の皆様も校歌を残したいという意見、思いが非常に強いと感じている。学校の統廃合が進む中で、登米市として校歌の保存を考えていても良いのではと感じた。現在登米市のホームページや教育委員会チャンネルで校歌の視聴ができるようだが、新しい学校の校歌が掲載された場合、閉校した学校の校歌はどうなるのか。旧〇〇学校の校歌という形でも良いので、市として校歌を残す取り組みを行っても良いのではと感じた。各自治体でいろいろな校歌の保存事業を行っており、登米市としても閉校していく学校の校歌を保存していても良いのでは思う。 2点目、閉校記念誌について、津山2校においては各校100ページ計1,000部を作成しており、東和3校が各校70ページ300部である理由を教えていただきたい。閉校記念誌に対する地域の方々の強い思いをととも感じている。市としてどの学校も同等程度の閉校記念誌を作成するべきであり、統一したページ数の予算要求をするべきだったのではと思う。今後閉校する学校の閉校記念誌についても、70ページ程度という認識で良いのか教えていただきたい。

	事務局	<p>3点目、閉校記念事業実行委員会の進め方について、昨年度から実行委員会を組織し閉校事業について内容を検討してほしいと言われたが、話し合う前段階で詳細を確認しても、来年度予算のため等で不確定内容が多くなかなか進められなかった。今年度になり詳細がわかってきたが、詳細がわかってから短期間で何度も保護者や先生方に集まっていただくのは負担が大きいと感じた。今後閉校する学校の進め方については、再検討されるべきではないかと思う。</p> <p>1点目の校歌の保存について、現在市のホームページやYouTubeで校歌を視聴できるようになっており、今後閉校する学校の校歌についても、同様に保存していく考えである。永久にということはお約束できないが、当面の期間は保存を考えている。</p> <p>2点目の閉校記念誌について、津山地域については、100ページで全世帯への配布を行った。これは、当初予算措置した範囲内で、児童数・世帯数が少なかったため実施できたもの。これまで市では仕様基準を定めずに閉校記念誌を作成していたが、今後続く再編を踏まえ、令和5年度に基準を定めた。そのスタートが今回からとなってしまった。明確化した基準は、世帯数が多い地域の再編を考え、全世帯への配布は行わないこととした。ページ数については、再度見積徴取した際に物価高騰の影響を受け、100ページには出来ず、70ページとなってしまった。今後統合予定の地域についても、東和地域と同様に進めていきたい。発行部数については、児童数・教職員数により変動はあるが、仕様基準通りの部数とページ数を同様に予算確保していきたい。さらに物価高騰の影響を受けた場合は、70ページ以下となる学校も想定されるが、市として事情を説明しながら地域の皆様に了解を得ていきたい。</p> <p>3点目の閉校記念事業実行委員会の進め方について、令和4年度にスケジュールは説明しているが、予算については、翌年度の予算は3月中旬以降に決定するため、それまでの間は曖昧にお答えできないことをご理解いただきたい。</p> <p>いただいた意見等は集約して、今後閉校する学校に対して丁寧に対応できるよう努力していきたい。</p>
	委員長	他に委員から何かあるか。
	委員	校旗の今後の取り扱いについて、確認したい。津山小学校の事例や現在東和総合支所2階に旧鱒淵小学校と旧嵯峨立小学校の校旗が置いてあるため、閉校する3校の校旗と合わせて5つの旗を飾ることや、新しい小学校の校旗もあると思うのでどのように考えているのかお聞きしたい。
	事務局	原則、校旗については、市へ返納され保管となる。同様に保管となるが、案として、歴史博物館等のイベントで旧小学校を思い出す機会を作りたいと考えている。
	委員長	他に委員から何かあるか。

委員	完成した閉校記念誌については、市のホームページへ掲載するのか。また、津山地域の旧小学校の閉校記念誌は、現在掲載されているのか。
事務局	掲載していない。掲載する場合は、プライバシーの関係から、皆様の承諾を得る必要があるため、協議することとなる。発行部数が少なくなってしまったため、冊子で見られない方にデータで公開することを検討したが、プライバシーの問題を懸念している。掲載している方全員の了解を得られれば、問題ないと思うが、今後一緒に協議していきたい。
委員	東和中学校の改修工事の進捗状況を伺いたい。
事務局	昨年度は、小学校となる東側の武道館側の校舎において、階段の高さ調整、手すりの修繕、トイレの洋式化、プールのかさ上げ工事等を行った。今年度は、中学校となる西側の校舎において、教室、体育館の小学生用のバスケットゴール等の修繕を行っている。3月末時点で50%の進捗率となっており、大きな工事は完了している。
委員	トイレは全面洋式になるのか。
事務局	トイレの洋式化の工事は行っているが、全面かどうかは次回の会議までに確認しておく。
委員	家庭ではほぼ100%洋式で生活しているため、子供たちにストレスのかからないような学校生活を送れるようにしてもらいたい。
委員	体育館が中学校と併用するというので、小中一貫校ではないため、令和5年6月に出された小学校施設修繕指針と小学校設置基準は満たしているのか。
事務局	工事については、文科省の補助事業を活用しており、基準を満たした上で補助を受けていると認識している。詳細については、次回の会議までに確認しておく。
委員	児童館では、屋外で遊ぶことは難しいと聞いていたが、どうなったのか。
事務局	児童館は子育て支援課の所管となるが、東和総合支所2階に設置する予定であり、屋外で遊ぶことは考えていないと聞いている。夏休みはバスで小学校まで送迎を行い、プールに入れる考えだと聞いている。
委員	学校では7月にしかプールを開放していない状況であり、8月にプールの開放が難しいと判断した場合はどうなるのか。
事務局	学校側でプールを開放している日にしか入らないと聞いている。開放していない日に児童館が責任をもって入れたりはいらない。
委員	プールの改修について、プールサイドは熱くならないようなシートを全

	面に敷いて 40%の熱を軽減する措置はしているか。
事務局	シートを敷いた暑さ対策は考えていない。市のプールのあり方について、猛暑で入れないことが多いため、今後新設や大規模改修は一切行わない考えである。代替として、バスの送迎により市民プールを利用することを検討している。それまでは近くの学校の利用出来るプールを使うことを考えている。屋外の活動が制限されてきている中で、市民プール等を活用するようになれば年中通して授業ができるのではないかと考えており、今後プールのあり方は変わってくると思う。
委員長	他に委員から何かあるか。
委員	スクールバスの進捗状況について、教えていただきたい。
事務局	専門部会で各校の先生方に協力いただき、検討いただいている。市としては、次の会議かその次の会議までにはある程度のルートを示せるのではないかと考えている。
委員	業者は決まっているのか。
事務局	学校からのルートの素案をもとに、予算内で学校と調整しルートを決定してから、入札で業者が選定される。
委員	はじめから台数を決めてもらった方が良いのでは。
委員	児童クラブで使用するバスも考えると金額も変わってくるのでは。
事務局	児童クラブで使用するバスとスクールバスの予算は別予算のため、通学用のスクールバスの予算内で考える。
委員	バスは各学校 2 台ずつと伺っている。
事務局	学校とさらに詳細を詰めていくよう担当に伝える。各地域によってバスの停留所の考え方が異なっているため、各学校で協議していただきたい。
委員	東和中学校に東和小学校を設置する話し合いの委員会で、大きな要因は各小学校 3 つの地域から均等な負担で子供たちが集まるにはどのような経路が良いかから始まった。その時の記録をベースに考えると効率の良い話し合いができると思う。
委員	子供たちに不具合ないよう、事故が起きないように考えてもらいたい。
委員	先日登校坂の下で長蛇の列で渋滞が起きていた。小学校と中学校が合わさることでもっと渋滞が起きること、災害も含めて安全な登下校の仕方を工夫していただきたい。
事務局	中学生の取り扱いについては、学校に確認したいが、小学生については、

	<p>スクールバスを基本とし、緊急時を除き保護者は上まで登らないことで確認している。</p>
委員	<p>中学校のお迎えは、基本的には下で待機することとなっており、部活動等で登下校時間が過ぎた場合は、一部上まで登る場合もある。中学生のお迎えだけで渋滞するので、小学生と一緒になった場合にスクールバスが通ったりすると思うが、どうなるのか保護者の間で話になっている。</p>
委員	<p>中学校の近くに住む児童は、スクールバスになるのか。徒歩で登校坂を登ることになった場合、危なくないのか、どのような安全対策をするのか。</p>
事務局	<p>市としては、国の基準を踏まえて2km以上をスクールバスで考えている。現在2km以内の児童はいないため、基本的にはスクールバスで通学する。今までスクールバスや給食業者の車等、通る時間を調整しルール化して登下校すること、登校坂の改修工事は出来ないことは説明してきている。これから皆さんとしっかりとルールを決めていかなければならないが、ルールを守っていくことで安全な通学を確保すると考えている。</p>
委員	<p>登校坂の改修工事が出来ないことは理解した。都合により車の送迎となった場合、中学生と同様に登校坂の下で乗り降りするとして、中学生の人数だけでも混雑しているのに小学生が加わったときに今の場所だけではすごく不足しているのではないか。さらに道路が渋滞することが考えられる。登校坂の改修工事が出来ないのであれば、下の駐車場を拡張することは難しいのか。</p>
事務局	<p>下の駐車場については、現在駐車場敷地となっていない場所をさらに5～6台は駐車できるスペースに拡張整備することを確認している。</p>
委員	<p>教職員等が全員止められる駐車場スペースはあるのか。</p>
事務局	<p>中学生の自転車置き場となっている付近に駐車場が整備される予定であるが、確認しておく。</p>
委員	<p>参観日の際は、保護者の方は駐車できているのか。</p>
委員	<p>奥までつめて停めていただくなど協力をいただき、校庭を使わなくても全員止められている。</p>
委員	<p>そこに小学生の保護者の分もとなると厳しいのでは。駐輪場奥側の草が生い茂った場所を整備してもらえたら対応できると思う。</p>
事務局	<p>今まで皆様と話し合っ学校位置からいろいろ決めてきたと認識しているが、まだ多くの課題があると感じた。過去の話合いをもう一度確認し、開校時期は決まっているため、様々な課題に皆様と一緒に話し合っ意見をいただきながら進めていきたい。子供たちが不安にならずに楽しく学校に行けるよう、皆様にお手伝いいただきながら一緒に考えていきたい。</p>

委員	登校坂について、スクールバス、先生方の車、中学生の自転車が通る中で、非常に危険ではないかと前に指摘したが、混雑の状況は、ルールを決めることで解決できるのではないかと回答いただいた。それで終わっており、具体的にどのような安全対策をして進めるのかは聞いていない。
委員	委員の皆様が良い意見を出しても決断を下す側が力を発揮してくれなければ、委員がいる意味がない。実行力が少し足りないと感じる。自分が言ったことに自信をもって、上にぶつけられる位の気持ちでいかなければ委員の考えを良い方向には難しいと思う。委員皆の考えをまとめる位の自覚をしてほしい。中身が欠けているような気がしたので言わせていただいた。よろしく願いしたい。
事務局	できる限りのことは行っている。工事ではなく、ルールを決めて通学することとしてきた。それ以上の工事をするというのは話が違ってくる。皆様の意見に対して工事は出来ないので、ルールを決めて工事以外の安全対策をとって、ルールを守って子供たちを無事に校舎まで届けることに協力しようという市の考えである。
委員	開校してから事故が起きないように並行してその形を作っていかなければならない話は前から話している。そこから話が進んでいない。形として皆様に示していかないと毎回このような騒ぎが出てくる。全然進んでいないということを弁解で語っているようなものだ。
事務局	弁解しているわけではない。工事は出来ないので、皆様でしっかりとルール化して安全対策を講じていくことで決定していると確認している。
委員	工事のことではなく、登る時間が皆同じ時間帯であるからどうするのか、どのように調整するのが皆不安に思っている。
事務局	ルール化については、学校、関係者の皆様と話し合っていきたい。
委員	皆不安に思っており、進んでいないから力を入れてやってほしいと言っている。
事務局	登校坂の渋滞や通学の頻度については、改めてしばらく確認させていただく。次回に自信をもって回答できるようにしたい。
委員	雨の日もお願いしたい。
事務局	市では以前雨の日も数日間かけて調査した記録を回答している。
委員	夏の雨の日に調査した話は聞いたが、一番車が並ぶのは冬である。毎日平均して見ていると、ある時間に限って渋滞している。そこは見えていなかった。年間通して見ないと混雑はわからない。ひどいときは車両が二列になっており、周りの生活している住民が困っている状況だ。

事務局		<p>今までの引き継いで聞いた話と今日お聞きした話では、ずれがあるように感じた。今日の話は持ち帰り、率直に伝えていく。それに対する市の新たな考えについては、次回の会議で話させていただきたい。</p>
委員長		<p>他に質問はあるか。</p>
委員		<p>(なし)</p>
委員長		<p>事務局から何かあるか。</p>
事務局		<p>次回の会議の日程について、本日いただいた意見の回答を含めて委員長、副委員長と日程調整した上で、通知させていただく。今回、年度当初の会議であったため、出欠確認の連絡をしたが、次回からは出席する場合は連絡不要であるが、欠席する場合には連絡いただくようよろしくお願いしたい。</p>
委員長		<p>次回の会議日程については、事務局と調整し、詳細は後日通知することとする。 議事は以上とする。進行を事務局に戻す。</p>
事務局		<p>以上で、第9回東和地域開校準備委員会を閉会する。</p> <p>閉会 午後8時30分</p>